

Supported by  日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION

# 2022(令和4)年度決算報告書

2022(令和4)年4月1日から2023(令和5)年3月31日まで

一般社団法人 日本船舶電装協会

## 収支計算書（資金収支）

2022(令和4)年4月1日から2023(令和5)年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	[ 4,666,000]	[ 4,660,351]	[ 5,649]	
基本財産利息収入	4,666,000	4,660,351	5,649	
特定資産運用収入	[ 4,000]	[ 1,025]	[ 2,975]	
特定資産利息収入	4,000	1,025	2,975	
会費入会金収入	[ 54,112,000]	[ 54,656,600]	[△ 544,600]	
正会員会費収入	49,962,000	49,906,600	55,400	
賛助会員会費収入	3,150,000	3,150,000	0	
入会金収入	1,000,000	1,600,000	△ 600,000	
補助金等収入	[ 72,100,000]	[ 70,376,000]	[ 1,724,000]	
日本財団助成金収入	72,100,000	70,376,000	1,724,000	
負担金収入	[ 8,093,000]	[ 7,198,200]	[ 894,800]	
一般事業負担金収入	245,000	140,000	105,000	
助成事業負担金収入	7,848,000	7,058,200	789,800	
雑収入	[ 1,415,000]	[ 1,467,419]	[△ 52,419]	
受取利息	1,000	1,219	△ 219	
雑収入	1,414,000	1,466,200	△ 52,200	
事業活動収入計	140,390,000	138,359,595	2,030,405	
2. 事業活動支出				
事業費支出	[ 131,081,000]	[ 111,907,421]	[ 19,173,579]	
一般事業費支出	16,125,000	6,539,696	9,585,304	
(活性化対策)	( 2,412,000)	( 861,733)	( 1,550,267)	
(調査指導事業)	( 8,802,000)	( 2,001,008)	( 6,800,992)	
(刊行費)	( 4,911,000)	( 3,676,955)	( 1,234,045)	
日本財団助成事業費支出	18,100,000	15,946,813	2,153,187	
(技術指導等)	( 12,100,000)	( 10,664,933)	( 1,435,067)	
(船内通信環境)	( 6,000,000)	( 5,281,880)	( 718,120)	
その他事業費支出	96,856,000	89,420,912	7,435,088	
(役員報酬支出)	( 22,059,000)	( 22,017,114)	( 41,886)	
(給料手当支出)	( 47,881,000)	( 44,802,993)	( 3,078,007)	
(退職給付支出)	( 10,000)	( — )	( 10,000)	
(福利厚生費支出)	( 12,080,000)	( 11,013,329)	( 1,066,671)	

科 目	予算額	決算額	差異	備考
(物件費支出)	( 1,020,000)	( 552,348)	( 467,652)	
(支払報酬支出)	( 905,000)	( 641,668)	( 263,332)	
(事務費支出)	( 2,774,000)	( 1,322,765)	( 1,451,235)	
(賃借料支出)	( 8,900,000)	( 7,651,418)	( 1,248,582)	
(支払手数料支出)	( 1,227,000)	( 1,419,277)	(△ 192,277)	
管理費支出	[ 30,941,000]	[ 25,532,700]	[ 5,408,300]	
役員報酬支出	2,452,000	2,446,346	5,654	
給料手当支出	11,398,000	11,367,131	30,869	
退職給付支出	10,000	—	10,000	
福利厚生費支出	2,923,000	2,759,103	163,897	
会議費支出	4,360,000	2,927,355	1,432,645	
旅費交通費支出	1,649,000	473,388	1,175,612	
物件費支出	204,000	110,468	93,532	
支払報酬支出	182,000	128,332	53,668	
事務費支出	555,000	264,559	290,441	
広告宣伝費支出	250,000	123,200	126,800	
賃借料支出	1,780,000	1,530,281	249,719	
支払手数料支出	296,000	283,850	12,150	
渉外費支出	1,200,000	254,191	945,809	
諸会費支出	1,550,000	1,504,500	45,500	
租税公課支出	1,620,000	1,228,935	391,065	
雑支出	512,000	131,061	380,939	
事業活動支出計	162,022,000	137,440,121	24,581,879	
事業活動収支差額	△ 21,632,000	919,474	△ 22,551,474	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
基本財産取崩収入	[ 305,000]	[ 304,800]	[ 200]	
定期預金取崩収入	305,000	304,800	200	
特定資産取崩収入	[ 2,505,000]	[ 1,056,675]	[ 1,448,325]	
退職給付引当資産取崩収入	20,000	—	20,000	
設備購入引当資産取崩収入	2,485,000	1,056,675	1,428,325	
投資活動収入計	2,810,000	1,361,475	1,448,525	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出	[ 8,840,000]	[ 8,738,025]	[ 101,975]	
退職給付引当資産取得支出	4,040,000	3,938,025	101,975	
事業活動準備引当資産取得支出	2,500,000	2,500,000	0	
設備購入引当資産取得支出	2,300,000	2,300,000	0	

科 目	予算額	決算額	差異	備考
固定資産取得支出	[ 2,485,000]	[ 1,056,675]	[ 1,428,325]	
工具器具備品取得支出	750,000	394,150	355,850	
ソフトウェア取得支出	1,735,000	662,525	1,072,475	
投資活動支出計	11,325,000	9,794,700	1,530,300	
投資活動収支差額	△ 8,515,000	△ 8,433,225	△ 81,775	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	—	—	—	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	—	—	—	
財務活動収支差額	—	—	—	
Ⅳ 予備費支出	[ 394,000]	[ — ]	[ 394,000]	
当期収支差額	△ 30,541,000	△ 7,513,751	△ 23,027,249	
前期繰越収支差額	30,541,000	31,128,859	△ 587,859	
次期繰越収支差額	0	23,615,108	△ 23,615,108	

## 収支計算書に対する注記

### 1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、前払費用、仮払金、未払金、未払費用、前受金、預り金、賞与引当金、未払法人税等及び未払消費税等を含めている。

なお、前年度末及び当年度末残高は、下記2. に記載する通りである。

### 2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前年度末残高	当年度末残高
現金預金	41,768,703	32,065,361
未収金	4,400	92,400
前払金	198,000	—
前払費用	535,340	625,340
仮払金	17,920	—
合 計 (A)	42,524,363	32,783,101
未払金	3,992,988	1,785,264
未払費用	22,011	20,900
前受金	11,300	109,900
預り金	480,741	521,705
賞与引当金	6,409,264	6,251,024
未払法人税等	70,000	70,000
未払消費税等	409,200	409,200
合 計 (B)	11,395,504	9,167,993
次期繰越収支差額(A)-(B)	31,128,859	23,615,108

### 3. 科目間の流用及び予備費の使用等について

#### (1) 科目間の流用

以下の通り予算の流用を行った。

(単位：円)

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
管理費支出			
会議費支出	4,560,000	△ 200,000	4,360,000
支払手数料支出	246,000	50,000	296,000
諸会費支出	1,400,000	150,000	1,550,000

#### (2) 予備費の使用

なし。

## 貸 借 対 照 表

2023(令和5)年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金	32,065,361	41,768,703	△ 9,703,342
未収金	92,400	4,400	88,000
前払金	—	198,000	△ 198,000
前払費用	625,340	535,340	90,000
仮払金	—	17,920	△ 17,920
流動資産合計	32,783,101	42,524,363	△ 9,741,262
<b>2. 固定資産</b>			
<b>(1) 基本財産</b>			
定期預金	73,670,400	53,975,200	19,695,200
投資有価証券	378,107,836	397,891,124	△ 19,783,288
基本財産合計	451,778,236	451,866,324	△ 88,088
<b>(2) 特定資産</b>			
退職給付引当資産	26,506,873	22,568,848	3,938,025
事業活動準備引当資産	25,430,000	22,930,000	2,500,000
設備購入引当資産	9,949,909	8,706,584	1,243,325
特定資産合計	61,886,782	54,205,432	7,681,350
<b>(3) その他の固定資産</b>			
工具・器具及び備品	979,387	1,234,449	△ 255,062
ソフトウェア	681,487	513,587	167,900
電話加入権	235,894	235,894	0
敷金	1,367,118	1,367,118	0
その他の固定資産合計	3,263,886	3,351,048	△ 87,162
固定資産合計	516,928,904	509,422,804	7,506,100
<b>資産合計</b>	549,712,005	551,947,167	△ 2,235,162
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金	1,785,264	3,992,988	△ 2,207,724
未払費用	20,900	22,011	△ 1,111
前受金	109,900	11,300	98,600
預り金	521,705	480,741	40,964
賞与引当金	6,251,024	6,409,264	△ 158,240
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	409,200	409,200	0

科 目	当年度	前年度	増減
流動負債合計	9,167,993	11,395,504	△ 2,227,511
2. 固定負債			
退職給付引当金	26,506,873	22,568,848	3,938,025
固定負債合計	26,506,873	22,568,848	3,938,025
負債合計	35,674,866	33,964,352	1,710,514
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
日本財団助成金基金	451,778,236	451,866,324	△ 88,088
指定正味財産合計	451,778,236	451,866,324	△ 88,088
(うち基本財産への充当額)	( 451,778,236)	( 451,866,324)	(△ 88,088)
(うち特定資産への充当額)	(            )	(            )	(            )
2. 一般正味財産			
一般正味財産	62,258,903	66,116,491	△ 3,857,588
(うち基本財産への充当額)	(            )	(            )	(            )
(うち特定資産への充当額)	( 35,379,909)	( 31,636,584)	( 3,743,325)
正味財産合計	514,037,139	517,982,815	△ 3,945,676
負債及び正味財産合計	549,712,005	551,947,167	△ 2,235,162

## 正味財産増減計算書

2022(令和4)年4月1日から2023(令和5)年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[ 4,965,151]	[ 4,666,528]	[ 298,623]
基本財産受取利息	4,965,151	4,666,528	298,623
特定資産運用益	[ 1,025]	[ 809]	[ 216]
特定資産受取利息	1,025	809	216
受取会費入会金	[ 54,656,600]	[ 54,235,200]	[ 421,400]
正会員受取会費	49,906,600	50,560,200	△ 653,600
賛助会員受取会費	3,150,000	3,225,000	△ 75,000
受取入会金	1,600,000	450,000	1,150,000
受取補助金等	[ 70,376,000]	[ 67,231,000]	[ 3,145,000]
日本財団受取助成金	70,376,000	67,231,000	3,145,000
受取負担金	[ 7,198,200]	[ 5,880,400]	[ 1,317,800]
一般事業受取負担金	140,000	176,000	△ 36,000
助成事業受取負担金	7,058,200	5,704,400	1,353,800
雑収益	[ 1,467,419]	[ 1,344,716]	[ 122,703]
受取利息	1,219	1,216	3
雑収益	1,466,200	1,343,500	122,700
経常収益計	138,664,395	133,358,653	5,305,742
(2) 経常費用			
事業費	[ 115,001,826]	[ 104,211,341]	[ 10,790,485]
一般事業費	6,539,696	4,834,688	1,705,008
(活性化対策)	( 861,733)	( 165,592)	( 696,141)
(調査指導事業)	( 2,001,008)	( 1,819,426)	( 181,582)
(刊行費)	( 3,676,955)	( 2,849,670)	( 827,285)
日本財団助成事業費	15,946,813	12,264,682	3,682,131
(技術指導等)	( 10,664,933)	( 8,573,021)	( 2,091,912)
(船内通信環境)	( 5,281,880)	( — )	( 5,281,880)
(絶縁抵抗測定)	( — )	( 3,691,661)	(△3,691,661)
その他事業費	92,515,317	87,111,971	5,403,346
(役員報酬)	( 22,017,114)	( 21,748,825)	( 268,289)
(給料手当)	( 44,802,993)	( 41,544,595)	( 3,258,398)
(退職給付費用)	( 3,094,405)	( 3,129,752)	(△ 35,347)
(福利厚生費)	( 11,013,329)	( 10,265,948)	( 747,381)
(物件費)	( 552,348)	( 559,392)	(△ 7,044)



科 目	当年度	前年度	増減
(支払報酬)	( 641,668)	( 688,418)	(△ 46,750)
(事務費)	( 1,322,765)	( 1,354,222)	(△ 31,457)
(賃借料)	( 7,651,418)	( 7,635,440)	( 15,978)
(支払手数料)	( 1,419,277)	( 185,379)	( 1,233,898)
管理費	[ 27,506,940]	[ 25,253,319]	[ 2,253,621]
役員報酬	2,446,346	2,416,537	29,809
給料手当	11,367,131	11,228,802	138,329
退職給付費用	843,620	821,642	21,978
福利厚生費	2,759,103	2,892,940	△ 133,837
会議費	2,927,355	985,941	1,941,414
旅費交通費	473,388	25,589	447,799
減価償却費	1,130,620	1,628,528	△ 497,908
物件費	110,468	111,877	△ 1,409
支払報酬	128,332	137,682	△ 9,350
事務費	264,559	270,844	△ 6,285
広告宣伝費	123,200	123,200	0
賃借料	1,530,281	1,527,087	3,194
支払手数料	283,850	37,073	246,777
渉外費	254,191	318,485	△ 64,294
諸会費	1,504,500	1,359,500	145,000
租税公課	1,228,935	1,240,118	△ 11,183
雑費	131,061	127,474	3,587
經常費用計	142,508,766	129,464,660	13,044,106
評価損益等調整前当期經常増減額	△ 3,844,371	3,893,993	△ 7,738,364
評価損益等計	—	—	—
当期經常増減額	△ 3,844,371	3,893,993	△ 7,738,364
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	—	—	—
(2) 經常外費用			
固定資産除却損	[ 13,217]	[ 133,488]	[△ 120,271]
經常外費用計	13,217	133,488	△ 120,271
当期經常外増減額	△ 13,217	△ 133,488	120,271
当期一般正味財産増減額	△ 3,857,588	3,760,505	△ 7,618,093
一般正味財産期首残高	66,116,491	62,355,986	3,760,505
一般正味財産期末残高	62,258,903	66,116,491	△ 3,857,588

科 目	当年度	前年度	増減
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	[ 216,712]	[ 216,712]	[ 0]
基本財産受取利息	216,712	216,712	0
一般正味財産への振替額	[△ 304,800]	[ - ]	[△ 304,800]
当期指定正味財産増減額	△ 88,088	216,712	△ 304,800
指定正味財産期首残高	451,866,324	451,649,612	216,712
指定正味財産期末残高	451,778,236	451,866,324	△ 88,088
Ⅲ 正味財産期末残高	514,037,139	517,982,815	△ 3,945,676

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

##### (a) 満期保有目的の債券

債券金額と異なる価額で取得した債券で、差額が金利の調整と認められるものは償却原価法によっている。

##### (b) その他の有価証券

期末における市場価格等に基づく時価によっている。

時価のないものについては取得価額によっている。

#### (2) 固定資産の減価償却について

##### (a) 工具・器具及び備品

定額法による減価償却を行っている。

##### (b) ソフトウェア

社内における利用可能期間（5年）に基づき償却している。

#### (3) 引当金の計上について

##### (a) 退職給付引当金

役職員の退職手当支給に備えるため、当年度末における退職給付債務に基づき、当年度末において発生していると認められる額を計上している。

##### (b) 賞与引当金

役職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している。

#### (4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

#### (5) 消費税等の会計処理

税込み方式によっている。

#### (6) 資産除去債務について

当法人は、本事務所オフィスの不動産賃借契約に基づき、オフィスの退去時における原状回復に係る債務を有しているが、当該債務に関連する賃借資産の使用期間が明確でなく、将来本事務所を移転する予定もないことから、資産除去債務を合理的に見積ることができない。そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上していない。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	53,975,200	20,000,000	304,800	73,670,400
投資有価証券	397,891,124	216,712	20,000,000	378,107,836
小 計	451,866,324	20,216,712	20,304,800	451,778,236
特定資産				
退職給付引当資産	22,568,848	3,938,025	—	26,506,873
事業活動準備引当資産	22,930,000	2,500,000	—	25,430,000
設備購入引当資産	8,706,584	2,300,000	1,056,675	9,949,909
小 計	54,205,432	8,738,025	1,056,675	61,886,782
合 計	506,071,756	28,954,737	21,361,475	513,665,018

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	73,670,400	( 73,670,400)	( — )	( — )
投資有価証券	378,107,836	(378,107,836)	( — )	( — )
小 計	451,778,236	(451,778,236)	( — )	( — )
特定資産				
退職給付引当資産	26,506,873	( — )	( — )	( 26,506,873)
事業活動準備引当資産	25,430,000	( — )	( 25,430,000)	( — )
設備購入引当資産	9,949,909	( — )	( 9,949,909)	( — )
小 計	61,886,782	( — )	( 35,379,909)	( 26,506,873)
合 計	513,665,018	(451,778,236)	( 35,379,909)	( 26,506,873)

4. 担保に供している資産

該当なし。

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
工具・器具及び備品	4,567,848	3,588,461	979,387
ソフトウェア	4,325,549	3,644,062	681,487
合 計	8,893,397	7,232,523	1,660,874

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし。

7. 保証債務等の偶発債務

該当なし。

8. 金融商品の状況に関する注記

(1) 金融商品に対する取組方針

法人運営の財源の大部分を運用益によって賄うため、債券により資産運用する。なお、デリバティブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

債券は発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。

(3) 金融商品のリスクに対する管理体制

(a) 資産管理規程に基づく取引

金融商品の取引は、当会の資産管理規程により行っている。

(b) 信用リスク及び市場リスクの管理

債券の時価情報等について定期的に把握し、理事会に報告している。

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
投資有価証券（基本財産）			
東日本旅客鉄道債 第39回	100,000,000	104,109,000	4,109,000
東京都公債 第722回	99,999,746	100,170,000	170,254
国債 利付国庫債券（30年） 第10回	78,108,090	85,160,720	7,052,630
兵庫県公債 12年 第4回	100,000,000	102,120,000	2,120,000
合 計	378,107,836	391,559,720	13,451,884

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次の通りである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
助成金 日本財団助成金	公益財団法人 日本財団	—	70,376,000	70,376,000	—	一般正味財産
合 計		—	70,376,000	70,376,000	—	

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次の通りである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額 基本財産運用益	304,800

12. 関連当事者との取引の内容

該当なし。

13. 重要な後発事象

該当なし。

#### 14. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

① 退職給付債務	△ 26,506,873
② 会計基準変更時差異の未処理額	—
③ 退職給付引当金 (①+②)	△ 26,506,873

(3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

① 勤務費用	3,146,025
② 会計基準変更時差異の費用処理	—
③ 退職給付費用 (①+②)	3,146,025

(4) 退職給付債務等の計算に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己要支給額を基礎として計算している。

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記「2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」を参照。

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	6,409,264	6,251,024	6,409,264	—	6,251,024
退職給付引当金	22,568,848	3,938,025	—	—	26,506,873





科 目	金 額	
その他の固定資産合計	3,263,886	
固定資産合計		516,928,904
資産合計		549,712,005
<b>II 負債の部</b>		
<b>1. 流動負債</b>		
未払金	1,785,264	
助成金精算払い・社会保険料・航空券代金		
未払費用 コピーカウンター料・プロバイダー接続料	20,900	
前受金 翌年度分会費・受講料	109,900	
預り金 源泉所得税・住民税・社会保険料	521,705	
賞与引当金	6,251,024	
未払法人税等 法人住民税均等割額	70,000	
未払消費税等 消費税・地方消費税	409,200	
流動負債合計		9,167,993
<b>2. 固定負債</b>		
退職給付引当金	26,506,873	
固定負債合計		26,506,873
負債合計		35,674,866
正味財産		514,037,139

定款第44条第1項の規定により、2022(令和4)年度決算関係書類を上記の通り提出します。

2023(令和5)年5月10日

一般社団法人 日本船舶電装協会

会 長 山 田 信 一 郎 ㊟

# 監 査 報 告 書

一般社団法人 日本船舶電装協会  
会 長 山 田 信 一 郎 殿

私ども監事は、一般社団法人日本船舶電装協会の2022(令和4)年4月1日から2023(令和5)年3月31日までの業務について監査を実施いたしました。その結果について、次のとおり報告いたします。

## 1. 監査の概要

監事は、理事会に出席するほか、協会事務局から事業の執行状況について聴取し、業務について監査を実施いたしました。

また、当該事業年度に係わる事業報告、事業報告の附属明細書、貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)、貸借対照表及び損益計算書の附属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書について監査を実施いたしました。

## 2. 監査の結果

- (1) 協会の業務について、法令、定款及び規則に従い適正に運用されているものと認める。
- (2) 事業報告及び附属明細書は、法令、定款及び規則に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 会計監査の結果  
貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)及び附属明細書は、協会の財産及び収支の状況を正しく示しているものと認める。
- (4) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく示していると認める。

2023(令和5)年5月10日

監 事            鳴 釜   孝 光   ㊟

監 事            田 岡   一 樹   ㊟

〈本決算報告書は競艇公益資金による公益財団法人日本財団の助成金を受けて作成した〉